

タックスファンタスティック

TAX FANTASTIC!!

第21回 テーマ 税理士は得意分野があるのか?



たくす 田久巢

田久巢会計事務所の代表で
公認会計士・税理士。
45歳男性。

田久巢会計事務所の代表の田久巢だ。読者のみなさんは資格試験の勉強をしている方が多いと思うが、得意科目や得意分野ってあるだろうか？ おそらくあるだろうし、苦手のものもあるだろう。さて、それでは税理士をはじめとする士業の先生たちにも、得意・不得意はあるのだろうか？ 専門家たる以上、どの分野にも強くて頼りになる存在のイメージが強い。今回は、そんな専門家の実態をご紹介します。気になる人、今回は必読だ。



えりいと 襟糸

一流大学卒のエリート税理士で知識が豊富なのだが…。入所5年目。35歳男性。



ぜいた 税太

税理士を目指しながら働く28歳男性。入所2年目。妻子あり。



そしこ

組織再編税制マニアの30歳女性税理士。監子の友人。

そし子 税太君、ちょっとお願いがあるんだけど…。
税太 今のセリフ、前回、前々回と全く同じですね。いい加減しつこいですよ監子さん！ってあれ？違う、そし子さんじゃないですか！
そし子 久々の登場ですよ！
そし子 ふふふ、そうね、約1年ぶりだったわね。ご無沙汰してたわ。
税太 あの時のそし子さんの、税金より平等を優先するお話はいい話でした。まだ読んでない方は「TACNEWS WEB」(<https://www.tac-school.co.jp/tacnewsweb/proteach/tax201904.html>)をぜひ読んでもらいたいです。
襟糸 むむ、監子君の友達のそし子君だな。は

はーん、さてはこの高速回転頭脳の襟糸様に質問に来たな。質問はウェルカムだ、ただし内容によっては高くつくぞ。
そし子 監子ちゃんから聞いているけど相変わらずの自尊心ね。しかも前回いろいろ教えてあげたのに、内容によってはお金とるなんてサイテー。むしろ逆よ。今日は、代表の田久巢先生に質問があるって言われたから来たの。
襟糸 なぬっ！泣く子も黙る百戦錬磨の伝説の税理士：田久巢大先生が質問だと？ふざけたことを言うな！
田久巢 いいや、ふざけたことではないぞ襟糸君。苦手というか、知らない分野は私もたく

筆者 天野 大輔(あまの だいすけ)

1979年生まれ。公認会計士・税理士。税理士法人レガシィ代表社員パートナー、株式会社レガシィ常務取締役。慶應義塾大学卒業、同大学院修了(フランス文学を研究)。情報システム会社でシステムエンジニアとして勤務。その後公認会計士試験に合格、監査法人に入り、会計監査・内部統制監査・IPO準備監査に従事。また事業再生、M&A支援等のコンサルティング業務も行う。その後日本で最大級の相続税申告数実績のある税理士法人レガシィへ。現在は相続・事業承継対策コンサルティングを担当。また情報戦略本部長としてプラットフォームの構築も担当し、2019年7月「Mochi-ya」をリリース。<https://www.mochi-ya.net>
主な著書：『改訂版 はじめての相続・遺言100問100答』(2017年、明日香出版、共著)



さんあるんだ。というかなんだね、そのわざとらしい枕詞は！今日は、この間発表された税制改正大綱に出ていた、連結納税制度がグループ通算制度に変わる話をきちんと聞いておこうと思ってね。彼女は連結納税を導入している上場会社の税務コンサルティングをしているから。
襟糸 そうだったんですね。代表にも苦手分野があったとは！
田久巢 襟糸君だって、税務の知識や条文の暗唱は得意じゃないか。だけどエリートといえども不得手の分野もあるだろう？
そし子 それは女性へのエチケットです。そして思いやりも欠乏しています。
襟糸 く〜、そし子君、他人の君には言われたくない！でも代表、確かに税務でいえば組織再編は実務の現場で出くわすことがまれだから、知識はあっても活用の面では不得手です。
そし子 あら、素直になるのは意外と得意なんじゃない。じゃあ私も素直に言うと、資産税は

本当にニガテ…。経験も不足しているけど、特に相続税の土地評価はロジックで考えにくいところもあってなかなか身につかないのよね。税太君もある？
税太 僕は税務畑では新米なので、まだまだどれも苦手で得意分野と言えるものはありませんが、税務の経験が少ないぶん、常識にとらわれずに一般人の感覚で考えるのは得意かもしれません。
田久巢 税理士だってみんな得意分野と苦手分野があるわけなんだ。でも苦手分野についてはそれが得意な人に聞いたり、代わりに担当してもらうのも手なんだよ。
襟糸 そうですか、でも苦手分野にしておくままでは悔いが残ります。
田久巢 まあな。でも『得意』と『悔い』は紙一重だ。そう思うなら『悔い』から頑張って『得意』にする道だってある。
一同 田久巢代表が一番得意なのはダジャレかも！



今回のポイント

税理士は税金に関する専門家でありプロだと言われる。それ故、税金について知らないことがあったらそれがどんなにマニアックな話であっても大変な恥だと思っている税理士も意外と多い。しかしたとえその道のプロでも、得意と不得意はあるのだ。世の中の他の業界を見ても、精神科医は外科手術の分野が苦手な人も多いだろうし、大抵のホームランバッターはバントが苦手だったりする。税理士が扱う税金の分野も、最近では社会環境が大きく変わって非常に広範だ。だからこそ、その人のキャリアや経験によって得意・不得意はばらばらだ。でもお互いが協力して補完し合えると、お客様の満足度は増すのではないだろうか？ 不得意を認識して得意な人と協力すること、これをまさに『得意』にすることができる税理士がたくさん出てくれば、会計事務所の将来は明るいはずだ。